

姫ヒマワリ
Heliopsis scabra
(キク科)

ヒマワリの名前で流通しているが1年草のヒマワリ (*Helianthus*) 属ではなく、宿根草の *Heliopsis* 属で、品種はほとんどが「旭」。水あげ、日持ちがよいので、小輪のヒマワリとして重宝されている。花より葉の黄変、褐変が先行する。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
花の老化	A: 花弁の変形がなく、変色もない C: 花弁が内側に丸まる D: 花弁がねじれ、変色・褐変する	Aの健全からいきなり花弁が変形するCになる。
開花程度	5～10輪の開花花(花序), 蕾のうち, A: 開花した花と蕾が混在し, C, Dの花がない B: ほぼすべての蕾が開花し, C, Dの花がない C: 健全な花(A, B)が3輪以上あるが, C, Dに至った花もある D: 花の老化がすすみ, A, Bの花が2輪以下	花数はつぼみを含め5～10輪前後。
葉の黄変・褐変	A: 黄変・褐変がない B: 下位葉の葉先がわずかに黄変 C: 下～中位葉が黄変 D: 中位葉が黄変し, 下位葉が褐変・枯死	
その他		

2) 留意点

水あげはよい。
調査開始後に開花した花は花径が小さく、花色が淡く、さらに花首が弱いのでベントネックをおこす。
花の老化より、葉の黄変、褐変が先行する。

3) 開花



4) チェック事項

花の老化



花弁が内側に巻く

丸まった花弁が変色・褐変

葉の黄変・褐変



葉先が
黄変



黄変



褐変